

2014（平成 26）年度  
＜第 10 期＞

事 業 報 告 書  
収 支 計 算 書  
財 産 目 録  
貸 借 対 照 表

自 2014 年 4 月 1 日  
至 2015 年 3 月 31 日



特定非営利活動（NPO）法人 アジア・チャイルドケア・リーグ

## 2014 年度(第 10 期)事業報告書

### 1. 事業の実施

#### (1) 医療福祉支援事業

フエ中央病院小児センターと協働し、ベトナム中部における小児がんの治療・ケアの向上に力を注いだ。特に現地の自立のための持続可能なキャパシティ・ビルディングの視点から、医療従事者、家族の会の幹部の人材育成ならびに現地でのファンドレイジングにもチャレンジし、関係各者・団体の協力により、着実に実績を積み重ねていくことができた。なにより密な連携・コミュニケーションを大切に、ニーズの把握とともに課題解決のための現地スタッフならびに関係者との協議を積み重ね、医療ならびに福祉面での改善に努めた。

ベトナム小児がんプロジェクトのパートナーであるフエ中央病院は 2014 年 12 月に設立 120 周年を迎え、記念式典(2014 年 12 月 11 日)に招待された。そしてこれまでの ACCL の長年に渡る小児がん医療ケア支援の功績に対して、ベトナム政府(保健省)より「人民保健功労勲章」が授与された。また、ベトナムの大手新聞(Tuổi Trẻ)に ACCL の活動ならびに渡辺代表についての記事「*Mẹ Nhật” của bệnh nhi ung thư Huế* (フエ小児がんの子どもたちの日本のお母さん)」が 2015 年 1 月 4 日に掲載された。

- 2014 年 5 月 13 日(火)～21 日(水):
  - ◇ フエ中央病院での活動\*
- 2014 年 5 月 16 日(金)・17 日(土):
  - ◇ ベトナム小児科学会 2014 に参加。ベトナム全土より約 600 名の医師が参加。学会内の小児がんセッションに協力。
  - ◇ 渡辺代表が「ベトナム・フエ中央病院との協働アウトリープロジェクト」について発表。
  - ◇ 小児がん治療に従事している学会参加施設に小児血液腫瘍専門書『*Pediatric Hematology-Oncology in Countries with Limited Resources: A Practical Manual*』を寄贈。
- 2014 年 5 月 18 日(日):
  - ◇ 慰霊祭・交流会「小児がんでお子様を亡くされたご家族のためのグリーンケア」を開催。
  - ◇ フエ中央病院小児センター、フエ医科大学ボランティアグループ「Blouse Xanh」の協力とともに約 150 名のご家族が参加。
- 2014 年 9 月 3 日(水)～14 日(日):
  - ◇ フエ中央病院での活動\*
  - ◇ 2014 年度前期の事業についてのアセスメント
  - ◇ 小児がん患児のためのプログラム：中秋のお祝い
- 2014 年 9 月 6 日(土):
  - ◇ 小児がんチャリティーコンサート(フエ劇場にて)開催に協力
  - ◇ ベトナムのプロの歌手 3 名ならびに地域の子どもたち、病院スタッフ、フエ医科大学ボランティアグループ、フエ音楽大学の学生たちが歌を披露
  - ◇ 小児がん患児・家族の招待ならびに支援
  - ◇ フェテレビでの中継による募金活動
- 2014 年 12 月 6 日(土)～14 日(日):
  - ◇ フエ中央病院での活動\*
  - ◇ 前田美穂医師(日本医科大学小児科)によるフエ視察、指導、学会参加、交流
  - ◇ フエ中央病院創立 120 周年記念式典に参加
  - ◇ ベトナム政府(保健省)より ACCL へ「人民保健功労勲章」の授与
- 年間を通して:

☆ フェ医科大学ボランティアグループ「Blouse Xanh」による小児センターでの活動支援ならびに協力

\*今年度も引き続き以下の内容を実施：

- 1 医療支援
  - 小児白血病治療実践・方針の指導ならびにフォローアップ
  - 感染症予防の指導
  - 治療環境整備のための物品寄付（病棟備品）
  - 院内での食事提供・栄養管理
  - 医療備品、医薬品（抗がん剤、抗生剤、輸血製剤）等の提供
  - 看護師の定期勉強会
  - 医療従事者から患児・家族への院内教育プログラムの協力
  - 関連部署・機関との会談・交渉
- 2 社会福祉支援
  - 患児・家族への交通費・緊急治療費補助
  - 治療中の患児・家族の家庭訪問ならびにお子さまを亡くされた家族との面談・慰問
  - ベトナム中部小児がん家族の会開催、患児家族への教育（感染予防対策等）、情報提供、意見交換、課題解決の促進
  - 入院中の患児・家族・医学生ボランティアとのイベント（国際子どもの日：6月1日、小児血液腫瘍看護師の日：9月8日、インターナショナル・ドットデー：9月15日、ベトナム・テト正月：1月31日、世界対がんデー：2月4日、国際小児がんデー：2月15日等のお祝い・啓発）
- 3 医療相談・症例検討
  - 日本、アメリカ、シンガポールの医師によるセカンドオピニオン、コンサルテーション
- 4 国際機関との連携
  - UICC（国際対がん連合）との協働プロジェクトのフォローアップ
  - ICCCP（国際小児がん親の会連盟）との連携

(2) 自立支援事業

今年度も引き続き一般財団法人新倉会様からの支援により、「ベトナム中部における小児がん治療向上のためのプログラム：フェ中央病院小児科と日本およびアジアの小児がん専門施設との交流～」を実施した。2014年5月には新倉会様の理事2名（新倉様・伊藤様）が現地を訪問し、病院視察、医療スタッフ・患児・家族・医学生ボランティアとの交流、保育園視察、ベトナム小児科学会ならびに慰霊祭にも参加して下さった。

(A) 小児がん早期発見・診断・治療のための地域保育園での検診・スクリーニング

目的： 子どもたちの検診・スクリーニングを通して健康・衛生管理、感染予防ならびに小児がん早期発見・啓発

① トゥアティンフエ省アールイ区

日程： 2014年10月15日（水）～16日（木）

場所： A Roang 保育園、A Dot 保育園

参加者：医療チーム（フェ中央病院小児センター：医師3名、看護師3名）

ファン・スアン・マイ（Phan Xuan Mai）医師

チャウ・ヴァン・ハー（Chau Van Ha）医師

ファム・ファイ・トアン（Phan Huy Thuan）医師

レー・ティエー・アン・トー（Le Thin Anh Tho）看護師

グエン・ティエー・ユン・スアン（Nguyen Thi Duong Xuan）看護師

ホアン・ティエー・アイ・チャム（Hoang Thi Ai Tram）看護師

② トゥアティンフエ省ナムドン区

日程： 2014年10月29日（水）～30日（木）

場所： Hung Huu 保育園、Thuong Long 保育園

参加者：医療チーム（フェ中央病院小児センター：医師3名、看護師3名）

ファン・スアン・マイ（Phan Xuan Mai）医師

チャウ・ヴァン・ハー（Chau Van Ha）医師

ファム・フイ・トアン (Phan Huy Thuan) 医師  
ホー・ヴィエット・トゥーン (Ho Viet Tuong) 看護師  
ドアン・ティー・ホン・ニョン (Doan Thi Hong Nhung) 看護師  
レー・ダイ・ニャン (Le Dai Nhan) 看護師

成果： トゥアティンフエ省内の 2 か所の山岳少数民族エリアへの検診を実施した。たいへん貧しい地域の子どもたちが実際どのような場所で生活し、どのような健康状態にいるかということ把握するためにも、今回の山岳少数民族での実施に至った。また、現在フエ中央病院小児センターで闘病中の白血病患児のなかには、この地域からの少数民族の子どもたちもいるため、保育園での小児がんの兆候や初期症状などについて、正しい小児がんへの理解について啓発したいという切なる思いもあった。これまで同様、小児センターより医師 3 名・看護師 3 名、合計 6 名の医療従事者が車で現地まで移動し、保育園内に診察スペースを設置し、園児一人一人を順番に検診した。(検診園児数：865 名) 検診後には、園児たちにミルクとビタミン剤を支給し、体調の悪い園児については必要な薬剤を提供した。小児がん兆候のポスターを保育園に掲示するとともに、スタッフに説明し、フエ中央病院小児センターとの連携を構築した。

(B) ベトナム中部省・区病院における現場指導・研修

目的： 小児がん発症疑いを早期に発見し、診断・治療に結びつけるための地域医療連携体制を確立 (実施場所は小児がんワークショップに参加した省病院より選抜)

日程： 2015 年 3 月 17 日 (火) ~20 日 (金)

場所： ダックラック (Đắk Lắk) 省病院

参加医療チーム：ベトナム・フエ中央病院小児科より 3 名

ファム・ホアン・フン (Pham Hoang Hung) 医師

チャウ・ヴァン・ハー (Chau Van Ha) 医師

ファム・フイ・トアン (Phan Huy Thuan) 医師

成果： フエ中央病院からベトナム中部省病院(ダックラック)にアウトリーチし、病院の視察ならびに区病院を含めた小児科医を対象に、小児がんの診断・治療についてトレーニングを実施した。今回のアウトリーチプログラムでは、ダックラック省病院の小児科医のみならず、14 の区病院からも小児科医を招聘し、小児がんのトレーニングクラスを開催した。それにより、小児がんの症状から早期発見、早期移送ならびに診断、血液検査等につなげ、フエ中央病院小児センターとの連携を深め、現場の医療従事者との連携体制構築の協力を要請した。また、ダックラック省病院の視察を通して、現場での小児疾患・治療の現状を把握し、現地の医師との協議をとおして、小児がん治療ならびにケアの体制整備に努めた。

(D) フエ医科大学医学生ボランティア団体による小児病棟での活動支援

実施場所：フエ中央病院小児科病棟内

実施時期：年間を通して

<団体概要>

- 団体名：「Blouse Xanh (英語名：Blue Blouse)」
- スーパーバイザー：Mr. Anh Hien Ho (アン・ヒエン・ホー)
- グループリーダー：Ms. Hoang Dao Nhat Linh (ホアン・ダオ・オ・ニャット・リン)
- 2008 年 9 月 11 日にフエ医科大学の医学生らによって発足
- 現在 250 名以上のボランティアが登録
- 2011 年 4 月からフエ中央病院小児科での活動 (“Blue Dream”) をスタート
- 小児科病棟での活動内容 (毎週末)：
  - ◇ 毎週末病棟にてダンス、歌、クイズ、お絵かき、絵本・DVD 鑑賞、お誕生会等。隔週で交互に小児科全体のプログラム、小児がん病棟でのベッドサイドでのプログラムを実施
  - ◇ 年次行事：国際子どもフェスティバル (6 月 1 日)、ベトナムの子どもの日 (8 月 15 日)、中秋の名月 (9 月)、インターナショナル

- ル・ドット・デー（9月15日）、クリスマス、テト旧正月等  
➤ 今年度は病棟での活動に必要なプロジェクターを寄贈

- (E) フェ中央病院での小児がん治療に対する医療環境の整備  
治療環境ならびに疾患についての指導ならびに環境整備に必要な医薬品、医療備品を購入

(3) 啓発活動・情報提供事業

小児がんへの正しい知識、支援の依頼ならびにアジア途上国における治療の現状や課題の情報提供。

- ① ウェブサイト (<http://www.accl.jp>)  
ホームページを通しての啓発・情報発信。
- ② ニュースレター『Harmony（ハーモニー）』の発行  
会員ならびに支援者に向け、年2回発行。（第18号：2014年12月、特別号：2015年2月）
- ③ 「国際小児がんの日」（2月15日）  
ICCCPO（国際小児がん親の会連盟）、SIOP（国際小児がん学会）、UICC（国際対がん連合）による発行された全世界共通ポスター「小児がんの徴候」を活用し、小児がんの早期発見・早期治療の啓発プロジェクトを展開。
- ④ ACCL 広報  
キャラクター「バブール」（イラストレーター：ムライタケシ様ご協力）、小児がんのシンボル「ゴールドリボン」とともに、小児がんの啓発ならびに ACCL の活動について広報を展開。

(4) コーディネート・コンサルテーション事業

(A) 国内事業

- ① 小児がんネットワーク MN（みんななかま）プロジェクト  
小児がん経験者のグループである小児がんネットワーク MN（みんななかま）プロジェクトの運営、企画、イベント等への助言・指導を提供。
- ② 小児がん関連の団体ならびに国際協力やボランティア・NPO 等  
問い合わせや相談等に随時対応。

(B) 海外事業：国際機関との連携

- ① UICC（国際対がん連合：本部スイス）協働プロジェクトのフォローアップ  
UICC の支援のもと、ACCL がコーディネーターとなり実施したフェ中央病院小児科の看護師研修プログラムのフォローアップ。関係機関への経過報告。課題解決へのアドバイス提示。
- ② ICCCP（国際小児がん親の会連盟）との連携。ベトナム中部小児がん家族の会の自立運営への指導。

(5) 交流・イベント事業

① イベントの開催・参加・協力

● 参加

内 容：Smile 会  
開催日程：2014年5月11日（日）  
場 所：かんでんパパホール（長野県伊那市）  
参 加：小児がん、本「ありがとっ」（若林努・著）、ゴールドリボンのお話

● 協力

内 容：がん征圧 24 時間チャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2014 町田」  
開催日程：2014年6月7日（土）～8日（日）  
場 所：鶴間公園（東京都町田市）  
あいにくの荒天（町田市大雨警報発令）により開催することができず、7日の夜にルミナリエを点灯、8日は会場に集まってくださった方々との交流。後日（2014年6月21日（土）・25日（水）にリレー・フォー・ライフ・ジャパン 2014 町田応援ライブ・チャリティーイベントを和光大学ポプリホール鶴川にて開催。

- 講義
  - 内 容：埼玉大学教育学部・養護教諭対象の公開講座
  - 開催日程：2014年8月22日（金）
  - 会 場：埼玉大学教育学部（埼玉県さいたま市）
  - 講 義：「子どもたちの命と向き合う現場でのコラボレーション：海外での事例とともに～困難を抱える子どもを取り巻く家族への支援・連携のあり方と実践～」
  
- 報告
  - 内 容：大原薬品工業株式会社 カンボジア報告会
  - 開催日程：2014年9月25日（木）
  - 会 場：聖路加タワー（東京都中央区）
  - 発 表：「国境を越えた小児がんキュア&ケア」
  
- 発表
  - 内 容：TSUMUGU”BITO” Project  
フィールドワークにおいて遭遇する困難例に対処するために、医療・教育・福祉の問題を「日常生活」の中で捉え直し、事例から対処のヒントを学び、支援のネットワークを築く場
  - 開催日程：2014年11月7日（金）
  - 場 所：上智大学【市谷】キャンパス 研究棟6階（東京都千代田区）
  - 発 表：「協働&アウトリーチ：国境を越えた小児がんのキュア&ケア」
  
- 特別講演
  - 内 容：第56回日本小児血液・がん学会学術集会  
Domestic から Global へ ～breakthrough を求めて～
  - 開催日程：2014年11月29日（土）
  - 場 所：岡山コンベンションセンター（岡山県岡山市）
  - 講 義：「国境を越えた小児がんのキュア&ケア：グローバルアクションとチャレンジ」
  
- 協力
  - 内 容：小児がん経験者による企画『前向きに生きる路～つながる支援へ』
  - 開催日程：2014年11月29日（土）
  - 場 所：岡山コンベンションセンター（岡山県岡山市）
  
- 協力
  - 内 容：第3回全国小児がん経験者大会 in 岡山
  - 開催日程：2014年11月29日（土）
  - 場 所：岡山国際交流センター・レセプションホール（岡山県岡山市）
  - 主 催：小児がんネットワーク MN（みんななかま）ネットワーク
  
- 共催・講演
  - 内 容：小児がんゴールドリボンキャンペーン・JAPAN・2015  
「～アジアの今とこれから～」
  - 開催日程：2015年2月21日（土）
  - 会 場：銀座十字屋ホール（東京都中央区）
  - 主 催：小児がんネットワーク MN（みんななかま）ネットワーク
  
- 参加
  - 内 容：東京マラソン 2015
  - 開催日程：2015年2月22日（日）
  - 会 場：東京都庁→東京ビックサイト（東京都）
  - フィリピンの小児がんサバイバー、ジェームス・アウステ氏と ACCL 渡辺代表がアジアでの小児がん Cure&Care、啓発・希望をかかげ、フルマラソンにチャレンジし、無事完走した。ジェームス氏は、脳腫瘍を発症し、治療終了後、フィリピ

ンでがんとたたかう子どもたちへの支援に取り組んでいる。

※新聞取材・記事掲載：

- 読売新聞：2015年2月17日（火）  
『小児がん患者へ希望を：アジアの子供へ 支援の走り』（ACCL 渡辺代表）
- 日経新聞：2015年2月18日（水）  
『がんと闘う子供に寄贈：フィリピン人男性「克服できる」』（ジェームズ氏）

## ② 海外とのネットワーク

- 国際小児がん親の会連合（ICCCPO）、国際対がん連合（UICC）、St.Jude-Viva Secretariat 等、小児がん関連組織への連絡、協力、情報交換を進めた。
- 学会等への参加
  - 1) 国際小児がん学会（SIOP）・国際小児がん親の会連合（ICCCPO）アジア大会への参加・発表  
開催日程：2014年4月17日（木）～19日（土）  
会 場：韓国・ソウル  
参 加 者：小児血液腫瘍に従事する医師・看護師、支援者、アジアからの小児がん家族・親の会の代表者、小児がん経験者。  
\*フエ中央病院小児センター長フン医師、ハー医師、イェン看護師、小児がん患児の父親（家族の会会長ならびに副会長）のタン氏・ヴィン氏、ACCL 渡辺代表  
口頭発表：「ベトナム中部小児がん家族の会プロジェクト」  
ポスター発表：ハー医師「Detection of the common genetic abnormalities by Reverse Transcriptase-Polymerase Chain Reaction (RT-PCR) in Children with Acute Leukemia at Hue Central Hospital, Vietnam」  
※渡辺代表が ICCCP の Asian Regional Committee のメンバーに任命された。  
香港、フィリピン、インド、イランの代表委員と共に ICCCP Asia の発展に寄与。
  - 2) 第 8 回 ST.JUDE-VIVA Pre-Forum Workshop & Forum 2014  
開催日程：2014年6月26日（木）・27日（金）プレフォーラム  
2014年6月28日（土）・29日（日）メインフォーラム  
参加者：フエ中央病院小児センター・ハー医師、ACCL 渡辺代表
  - 3) 第 16 回 International Symposium on Pediatric Neuro-Oncology  
（国際小児脳腫瘍シンポジウム）  
開催日程：2014年6月28日（土）～7月2日（水）  
参加者：フエ中央病院放射線科・ユイ医師を招聘
  - 4) 第 9 回 ST.JUDE-VIVA Pre-Forum Workshop, Forum, CCF-VIVA Learning Xchange, Nursing Symposium 2015  
開催日程：2015年3月26日（木）・27日（金）プレフォーラム  
2015年3月28日（土）・29日（日）メインフォーラム  
2015年3月28日（土）家族向けのワークショップ  
2015年3月30日（月）看護シンポジウム  
参加者：フエ中央病院小児センター・ハー医師、ホア医師、イェン看護師、ACCL 渡辺代表

## (6) 調査・研究事業

アジア諸国における小児がん事業の連携強化のため、治療の現状について情報収集・ニーズ把握に取り組んだ。また、ACCL 渡辺代表が共著者として参加した小児血液腫瘍専門書『Pediatric Hematology-Oncology in Countries with Limited Resources: A Practical Manual』をアジアの途上国で小児がん治療・ケア・研究に従事する医療施設へ寄贈した。

## (7) その他の事業

- ① ネパール小児がん支援：B.P.コイララ記念病院（ネパール・バラトプル）小児血液腫瘍科クリシュナ・サガー・ジャルマ医師への支援・協力
  - 国際小児がん学会(SIOP)・国際小児がん親の会連盟(ICCCPO)総会への参加  
日程：2014年10月22日（水）～25日（土）  
場所：カナダ・トロント

- ② アンコール小児病院視察（カンボジア・シェムリアップ）
- 2014年9月1日（月）・2日（火）
  - 大原薬品工業株式会社社員様との病院視察、医療従事者との交流を通じたカンボジアにおける医療実態の理解
  - 小児がん関連書籍を病院に寄贈

## 2. 運営事項

### (1) 総会

開催日時：2014年6月22日 午後3時  
場 所：ブロードシティ東京 B1 会議室（東京都中央区）  
議 題：2013年度事業報告・決算報告  
2014年事業計画案・予算案について  
※併せて、報告会「小児がんプロジェクトのグローバルチャレンジ」

### (2) 理事会

#### ● 第1回

開催日時：2014年5月12日 午後7時00分  
場 所：本法人事務所  
議 題：2013年度決算報告ならびに会計監査  
2014年事業計画案についての協議

#### ● 第2回

開催日時：2014年11月19日 午後7時00分  
場 所：本法人事務所  
議 題：既存事業の経過  
2014年上半期事業、収支経過の承認ならびに  
2014年度下半期事業の確認

### (3) 役員

現役員の任期は、2012年7月1日から2014年6月30日まで

理 事 長	渡 辺 和 代
副 理 事 長	秋 田 成 就
理 事	井 上 修 一
監 事	山 岸 秀 雄

2014年7月1日からも前期に引き続き上記の役員が2年間重任。

### (4) 資金源

会費ならびに寄付により事業を運営。

A) 2014年度会費総額： ¥213,000  
B) 2014年寄付総額： ¥7,050,382



## 2014 年度収支計算書

平成26(2014)年度 <第10期> 特定非営利活動に係る事業 収支計算書  
2014年4月1日から2015年3月31日まで

特定非営利活動法人 アジア・チャイルドケア・リーグ  
(単位:円)

科 目	金 額	
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入		
パートナー会員		
個人会員会費収入	48,000	
法人会員会費収入	0	
サポーター会員		
個人会員会費収入	165,000	
法人会員会費収入	0	213,000
2 事業収入		
(1) 医療福祉支援事業	0	
(2) 自立支援事業	0	
(3) 啓発活動・情報提供事業	0	
(4) コーディネート・コンサルテーション事業	0	
(5) 交流・イベント事業	0	
(6) 調査・研究事業	0	
(7) その他、目的を達成するために必要な事業	0	0
3 寄付金収入		
寄付		7,050,382
4 補助金・助成金収入		
補助金	0	
助成金	0	0
5 雑収入		
預金利子		744
当期収入合計		7,264,126
経常収入合計		7,264,126
II 経常支出の部		
1 事業費		
(1) 医療福祉支援事業	5,123,228	
(2) 自立支援事業	1,109,708	
(3) 啓発活動・情報提供事業	311,234	
(4) コーディネート・コンサルテーション事業	0	
(5) 交流・イベント事業	2,395,786	
(6) 調査・研究事業	402,752	
(7) その他、目的を達成するために必要な事業	230,719	9,573,427
2 管理費		
役員報酬	0	
給与手当	0	
光熱費	48,724	
通信費	107,396	
印刷費	3,750	
広告宣伝費	0	
機器備品費	0	
消耗品費	26,968	
旅費交通費	4,600	
会議費	100	
雑費	2,340	193,878
3 予備費		0
経常支出合計		9,767,305
経常収支差額		(2,503,179)
当期収支差額		(2,503,179)
前期繰越収支差額		7,475,704
次期繰越収支差額		4,972,525
(正味財産増減の部)		
III 正味財産増加の部		
1 資産増加額		
当期収支差額		(2,503,179)
2 負債減少額		0
増加額合計		(2,503,179)
IV 正味財産減少の部		
1 資産減少額		
当期収支差額		(2,503,179)
2 負債増加額		0
減少額合計		(2,503,179)
当期正味財産減少額		(2,503,179)
前期繰越正味財産額		7,475,704
当期正味財産合計		4,972,525

注記) 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

現金: ¥304,836  
普通預金: ¥4,667,689

平成26(2014)年度 財産目録

2015年3月31日現在

特定非営利活動法人 アジア・チャイルドケア・リーグ

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金 現金手元許有高	304,836		
郵便振替貯金:00120-0-724050	0		
郵便振替貯金:00150-1-377857	0		
普通預金 三井住友銀行・築地支店	561,878		
普通預金 みずほ銀行・築地支店	526,911		
普通預金 三菱東京UFJ銀行・築地支店	3,578,900		
外貨普通預金 三井住友銀行・築地支店	0		
流動資産合計	4,972,525		
2 固定資産			
土地	0		
建物	0		
什器備品	0		
電話加入権	0		
敷金	0		
積立金	0		
固定資産合計	0		
資 産 合 計		4,972,525	
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	0		
短期借入金	0		
流動負債合計	0		
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計	0		
負 債 合 計		0	
正 味 財 産			4,972,525

平成26(2014)年度 貸借対照表

2015年3月31日現在

特定非営利活動法人 アジア・チャイルドケア・リーグ

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金 現金手元許有高	304,836	
郵便振替貯金:00120-0-724050	0	
郵便振替貯金:00150-1-377857	0	
普通預金 三井住友銀行・築地支店	561,878	
普通預金 みずほ銀行・築地支店	526,911	
普通預金 東京三菱UFJ銀行・築地支店	3,578,900	
外貨普通預金 三井住友銀行・築地支店	0	
流動資産合計		4,972,525
2 固定資産		
土地	0	
建物	0	
什器備品	0	
電話加入権	0	
敷金	0	
積立金	0	
固定資産合計		0
資産合計		4,972,525
II 負債の部		
1 流動負債		
預り金	0	
短期借入金	0	
流動負債合計		0
2 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	7,475,704	
当期正味財産増減額	(2,503,179)	
正味財産合計		4,972,525
負債及び正味財産合計		4,972,525